許可申請書類一覧：土石の堆積

| **書類の名称** | **縮尺** | **明示すべき事項** | **備考** |
| --- | --- | --- | --- |
| □本チェックリスト | ─ | □該当する全ての□にチェックをして提出 |  |
| □許可申請書 | ─ |  | □【省令様式第四】 |
| □委任状 | ─ | □代理者の氏名、住所及び電話番号、委任する内容、委任者の氏名、住所及び電話番号 | （任意様式）  ※代理人が申請手続を行う場合 |
| □土地の公図の写し | ─ | □方位、□縮尺  □施行区域の境界（赤枠） |  |
| □土地の登記事項証明書 | ─ |  | □申請日から３か月以内のもの |
| □工事主の資力・信用に関する申告書 | ─ |  | □【細則第３号様式】 |
| 個人の場合、以下の書類を添付  □資金計画書  □暴力団員等に該当しない旨の誓約書  □住民票の写し又は個人番号カードの写し（表面のみ、個人番号を黒塗り）  □直前３年の所得税の納税証明書 | □【省令様式第五】  （任意様式）  □完納を確認できるもの |
| 法人の場合、以下の書類を添付  □資金計画書  □暴力団員等に該当しない旨の誓約書  □法人の登記事項証明書  □役員の住民票の写し又は個人番号カードの写し（表面のみ、個人番号を黒塗り）  □直前３年の法人税の納税証明書 | □【省令様式第五】  （任意様式）  □取締役（会社の場合）又は理事（その他の法人の場合）  □完納を確認できるもの |
| □工事施行者の能力に関する申告書 | ─ |  | □【細則第４号様式】 |
| 以下の書類を添付  □法人の登記事項証明書（個人の場合は住民票の写し又は個人番号カードの写し（個人番号を黒塗り））  □建設業許可通知書の写し又は建設業許可証明書 |  |
| □申請地及びその周辺の写真 | ─ | □申請地及び公道内から撮影可能な範囲で、土地の状況を明らかにするもの  □撮影箇所及び方向がわかる図面（地形図との兼用可）を添付 | □土地の全景（複数枚に分けて撮影したものも可。）  □土地の利用状況（空地、住宅地、原野等の用途がわかるもの）  □土地の高低差（接する道路又は隣地等との高低差を含む。）及び既存の擁壁等の構造物の状況（種類、形状及び高さ等がわかるもの） |
| □同意を得たことを証する書類 | ─ | 権利の種類  □所有権、□地上権、□質権、□賃借権  □使用貸借権、□使用収益権 | □【細則第２号様式】 |
| □住民への周知措置を講じたことを証する書類 | ─ | □周知内容がわかるもの（手引2.1.2.項参照） | （任意様式） |
| 説明会開催の場合、以下の書類を添付  □開催の周知範囲が分かる位置図等  □開催案内及び開催結果が分かる資料（説明会に用いた資料等） |  |
| 書面配布の場合、以下の書類を添付  □配布した書面  □配布範囲が分かる位置図等 |  |
| 掲示及びインターネットによる場合、以下の書類を添付  □掲示場所が分かる位置図等  □掲示状況の写真  □閲覧ページの写し(ＵＲＬ含む) |  |
| □構造計算書 | ─ | □措置の概要  □構造計画  □応力算定及び断面算定 | ※以下のいずれかに該当する場合  ①土石の堆積を行う面（鋼板等を使用したものであって、勾配が１０分の１以下であるものに限る。）を有する堅固な構造物を設置する場合  ②堆積した土石の滑動を防ぐため又は滑動する堆積した土石を支えるための構造物を設置する場合 |
| □安定計算書（地盤） | ─ | □土質試験その他の調査又は試験に基づく地盤の安定計算書 | ※堆積した土石の周囲にその高さを超える鋼矢板等の設置措置を講ずる場合 |
| □土地の求積図（実測図） | 指定なし | □申請に係る土地の求積に必要な寸法及び算式  □土石の堆積をする土地の部分の求積に必要な寸法及び算式 |  |
| □土量計算書 | ─ | □土石の堆積の最大堆積土量の計算書 |  |
| □位置図 | □1/10,000以上 | □方位、□申請地の位置(赤枠)  □主要道路  □排水先の河川への経路  □学校、その他目標となる地物 |  |
| □地形図（現況図） | □1/2,500以上 | □方位、□地形（等高線）  □申請区域の境界（赤枠） | □等高線は２ｍの標高差を示すもの |
| □土地の平面図 | □1／2,500以上 | □方位、□土地の境界線（赤枠）  □勾配が1/10を超える土地における堆積した土石の崩壊を防止するための措置を講ずる位置及び当該措置の内容  □空地の位置  □柵その他これに類するものを設置する位置  □雨水その他の地表水を有効に排除する措置を講ずる位置及び当該措置の内容  □堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置を講ずる位置及び当該措置の内容 | □現況地形線は細く、計画線は太く表示  □断面図を作成した箇所に断面図と照合できるように記号を付す。  □空地については、申請書と照合できるように番号を付す。 |
| □土地の断面図 | □1/2,500以上 | □土石の堆積を行う土地の地盤面 | □高低差の著しい箇所について作成する。 |
| □擁壁の断面図 | □1/50  以上 | □擁壁の寸法及び勾配  □擁壁の材料の種類及び寸法  □裏込めコンクリートの寸法  □透水層の位置及び寸法  □擁壁を設置する前後の地盤面  □基礎地盤の土質  □水抜穴の寸法とその間隔  □基礎ぐいの位置、材料及び寸法 | ※堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置等として設置する場合 |